

合格を目指し、『今』がんばろう！

明日から家庭研修が始まり、いよいよ入試本番です。何度も言うようですが、現役のみなさんの実力は試験当日まで上昇曲線を描きます。国立前期までは4週間強、後期まではたっぴり1か月以上もあります。しかも、毎日一日中勉強できるのです。本番の私大入学試験を受けながらも伸びるといいでしょう。

ただし、この期間に効果的な学習をするにはそれなりの工夫が必要となります。

- ① 個別試験では、何となくの理解では得点が伸びません。今一度、基本事項の理解を徹底させましょう。そのためには、教科書、模試の見直しが効果的です。
- ② 今まで使ってきた問題集の中のできなかった問題を、再度解いてみましょう。今から新しい問題集に手を出す必要はありません。
- ③ 各大学には出題のクセがあります。それを知るためにも、最低1年分は受験する大学の過去問に取り組みましょう。
- ④ 記述式の問題では部分点をもらえることが多くあります。自分がどこまで解けているかをアピールするためにも、途中経過をしっかりと書いておきましょう。(某大学では、消しゴムで消された跡まで見るそうです)

試験当日に体調を崩しては、自分の実力が100%発揮できません。健康管理には十分注意しましょう。特に風邪・インフルエンザと花粉症には要注意です。ただし、眠くなる薬は試験日の朝はやめましょう。また、規則正しい朝型の生活を心がけましょう。適度な運動も忘れずに！家庭研修中は1日勉強できますが、午前中に3～4時間学習すると、無理なく1日10時間以上学習できます。入試が始まるのは午前中であることを意識してください。

「今年は力不足だから、浪人して来年がんばろう」、「今年はあきらめて来年の準備をしよう」と考えている人はいませんか。あきらめた瞬間に成績の伸びは止まります。

特に、基礎力や勉強習慣のない人、強い志望のない人は、今から1年間がんばったとしても、なかなか伸びず来年完璧な準備で受験を迎えられる人は少数でしょう。ですから、あくまで現役合格を目指して『今』がんばってください。それが、万々浪人しても財産になります。

受験勉強は大切ですが、それはあくまでも大学に合格するための勉強です。大学では、興味のあることや研究したいことを追究する本来の勉強ができます。みんなが一日も早くそういう勉強ができるように期待しています。

★国公立大の出願校(前・中・後)が決定したら、必ずすぐに担任の先生まで報告してください。

★「マナビジョン」やインターネット(データネット2026で検索)を活用しましょう。

- ①出願状況(～2月4日)
- ②第一段階選抜実施状況(2月中)
- ③合格発表(合格発表日～)
- ④入学手続き状況(合格発表日～3月末)
- ⑤追加合格・2次募集情報(3月末)等の情報が得られます。

★志望大学の個別試験の実施状況はHPをこまめにチェック

【進路室の利用】

※通常の貸し出し:2月24日(火)までとします ★返却日3月9日(月)※3年生登校日

※最終貸し出し3月10日(火)(国公立大中期・後期受験者対象) ★返却日3月16日(月)※卒業式予行
期限を守って返却してください！！

【赤本の寄贈】

進路実現できた人は、『赤本』の寄贈に協力してください。登校日等に直接進路室までお願いします。